



学校通信

平成31・令和元年度 第9号
令和 2年 1月 8日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

『未来を創る子供たちに必要となる学習の基盤』

校長 岡部 良美

あけましておめでとうございます。4月から新学習指導要領（教育活動の基準）による学校教育が全面実施となります。教育に携わる者として期待感があります。

かつて小学校では「読み・書き・そろばん（計算）」を学習の基礎・基本として、確実な習得に重点をおき取り組んできた時期がありました。今後子供たちは、生産年齢人口の減少、急激な少子高齢化、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境が大きく急速に変化する社会において、生活・活躍することが予想されます。未来を創るために、今までの基礎・基本に加えて、小学校教育で育成すべき学習の基盤となる資質・能力についてお伝えします。

【言語能力】

言葉は、学習活動を支える重要な役割を果たします。すべての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となります。

教科書や教師の説明の理解、資料等からの情報の取り出し、自分の考えのまとめ、他者の思いの受け止め、自分の思いの表明などを行う上で、言葉の役割は重要です。

開三小では具体的な取組の一つとして、「わくわく作文」の活動を平成13年度から行っています。短時間で自分の思いを文章に書き表す、そして友達とその作品を読み合い共感することで、言葉を選び、読む・書く・表現する能力を高めています。

【情報活用能力】

情報を主体的に捉えながら、何が重要かを主体的に考え、見いだした情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値の創造に挑んでいくために重要な能力です。情報技術を手段として学習や日常生活に活用できるようにしていくことも大切です。

コンピュータ等の情報手段を用いた情報の入手、情報の整理・比較・発信・伝達・保存・共有などができる力です。そのために、情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティも必要となってきます。

※【プログラミング思考とは】自分が意図する一連の活動の実現のために、どのような組み合わせが必要で、一つ一つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたらよいか、記号の組み合わせをどう改善したらより意図した活動に近づくか、論理的に考えていく力

開三小では、4月からのプログラミング教育の実施に向けて計画を進めます。

【問題発見・解決能力】

与えられた問題を解決するのではなく、自ら物事の中から問題を見だし、その解決方法を探し出し、計画を立て、結果を予測しながら実行する力を付けていくことが重要です。



開三小では、今年度から、子供たちが生活する地域を学習のフィールドとして、生活科・総合的な学習の時間の中で、問題を探し、解決方法を考え実践し、振り返り、次の問題発見・解決につなげる『探究的な学び』を重視した学習指導を研究・実践しています。

☆開三小では未来を創る子供たちを育てる教育を全教職員で進めていきます